

はしがき

簿記や財務諸表・財務分析に関する入門書は、巷に氾濫しているといっ
ていいほど発行されていますが、実務を担当されている方からは、「どうも
ピンとくる入門書がない」「理論的すぎて実務との関係がわからない(この
逆もあるのですが)」「細かいテクニックばかりで概括的に触れられていな
い」などの声も多く聞かれます。

そこで本書では、実際に使われている理論をベースに、簿記・財務諸表・
財務分析を初級者用としてコンパクトにまとめてみました。

また、八訂版では、「電子記録債権」「生産性分析」「キャッシュ・フロー
計算書」の解説を追加するとともに、銀行業務検定試験『財務4級』の出
題傾向を考慮しながら、記述内容を細かく、かつ網羅的に見直しました。

もちろん、七訂版同様に、簿記・財務諸表・財務分析へのスターティン
グブロックとしての性格には十分に配慮しています。

本書は、銀行業務検定試験『財務4級』に対応した重要参考書ですが、

- ① 実務に役立つノウハウを平易なことばでわかりやすく、
- ② 簿記・会計を理解するうえで必要とされる法律・税務等も体系的に、
- ③ 最新の会計基準やキャッシュ・フロー計算書も入門書の範囲で可能な
限り、

織り込んだつもりです。各章掲載の「確認問題」で理解度を確かめること
もできます。

金融機関の方にとっては、融資審査の基礎となる決算書を理解できるよ
うに、入門者の方には、実際に使われている理論や実務をベースに、簿記・
財務諸表・財務分析を初級者用としてコンパクトにまとめていますので、
本書が1人でも多くの方にお役に立てていただけることを願っております。

平成28年3月

染谷 英雄

CONTENTS

第1編 簿記の基本

1 簿記の用語

- 1 企業経営と会計…2 ◆
- 2 会計と簿記…3 ◆
- 3 商行為と取引…4 ◆
- 4 財産と資産…5 ◆
- 5 負債と債務…5 ◆
- 6 資本と資本金…6 ◆
- 7 利益と収益…7 ◆
- 8 費用と損失…8 ◆
- 9 取引から財務諸表が完成するまで…8 ◆
- 10 簿記の等式と財務諸表…11

2 取引と仕訳

- 1 取引の二面性とは…14 ◆
- 2 取引を2つの面に分けるときのルール…18 ◆
- 3 借方と貸方…19 ◆
- 4 勘定科目とは…20 ◆
- 5 取引の仕訳という表現方法…22 ◆
- 6 仕訳の例題…23 ◆
- 7 商品売買仕訳のしかた…26

3 総勘定元帳への転記

- 1 総勘定元帳とは…30 ◆
- 2 総勘定元帳の形式…30 ◆
- 3 残高式総勘定元帳の記入のしかた…30 ◆
- 4 総勘定元帳の繰越記入のしかた…31 ◆
- 5 転記の手続…31 ◆
- 6 複式簿記ということ…33 ◆
- 7 T字型元帳…34

4 試算表

- 1 試算表とは…37 ◆
- 2 合計試算表とは…38 ◆
- 3 残高試算表とは…40 ◆
- 4 試算表のチェック…41 ◆
- 5 月次試算表の役目…45

5 決算・決算整理仕訳

- 1 決算とは…48 ◆
- 2 決算の時期…49 ◆
- 3 決算の目的…49 ◆
- 4 決算の関連法規…50 ◆
- 5 振替仕訳とは…50 ◆
- 6 三分法を使った場合の売上利益の計算…52 ◆
- 7 期末修正とは…54 ◆
- 8 簡単な期末修正事項の例…55 ◆
- 9 在庫の棚卸…59 ◆
- 10 精算表の作り方…62

6 帳簿

- 1 帳簿の種類と構成…68 ◆
- 2 各帳簿の説明…69 ◆
- 3 帳簿の形式…71 ◆
- 4 繰越記入のしかた…74 ◆
- 5 仕訳伝票とは…75 ◆
- 6 1伝票1科

目主義…76 ◆ 7 市販3伝票の使い方…76

7 仕 訳(1)

1 流動資産に属している勘定科目…80 ◆ 2 固定資産に属している勘定科目…95 ◆ 3 繰延資産に属している勘定科目…99 ◆ 4 流動負債に属している勘定科目…101 ◆ 5 負債性引当金に属している勘定科目…108 ◆ 6 固定負債に属している勘定科目…110 ◆ 7 純資産に属している勘定科目…111

8 仕 訳(2)

1 収益に属している勘定科目…120 ◆ 2 費用に属している勘定科目…122 ◆ 3 減価償却…128

9 工業の簿記

1 工業の特色とその簿記…139 ◆ 2 原価とは…141 ◆ 3 原価計算の目的と効果…142 ◆ 4 原価計算の種類…143 ◆ 5 原価計算の方法…144 ◆ 6 工業簿記を学習する人に…147 ◆ 7 製造勘定と製造間接費勘定…149 ◆ 8 工業簿記の事例…150

第2編 財務諸表の基本

1 企業会計法規の種類

1 会社法の会計規定…160 ◆ 2 会社法施行規則と会社計算規則…160 ◆ 3 財務諸表等規則とは…161 ◆ 4 企業会計原則とは…161 ◆ 5 法人税法の規定とは…161 ◆ 6 中小企業の会計に関する指針…163 ◆ 7 財務会計と管理会計…166

2 財務諸表

1 各種の規定による財務諸表…168 ◆ 2 会社法の計算書類体系…168 ◆ 3 附属明細書…169 ◆ 4 注記表…170 ◆ 5 連結財務諸表…172 ◆ 6 国際会計基準(IFRS)とはなにか…172

3 企業会計原則

1 一般原則とは…178 ◆ 2 真実性の原則…179 ◆ 3 正規の簿記の原則…180 ◆ 4 資本取引・損益取引区分の原則…180 ◆ 5 明瞭性の原則

…180 ◆ 6 継続性の原則…181 ◆ 7 保守主義の原則…181 ◆ 8 単一性の原則…182 ◆ 9 重要性の原則…182

4 損益計算書

1 損益計算書(P/L)の区分・形式…185 ◆ 2 損益計算書の原則…185 ◆ 3 発生主義会計とは…187 ◆ 4 営業収益の認識基準…188 ◆ 5 販売基準…189 ◆ 6 建設業の収益計上基準は「工事進行基準」…190 ◆ 7 費用の認識基準…191 ◆ 8 費用の測定のみかた…192 ◆ 9 費用収益対応の原則…192 ◆ 10 販売費と一般管理費…193 ◆ 11 営業外損益に属している科目…193 ◆ 12 特別利益と特別損失…194 ◆ 13 税引前当期純利益と当期純利益…194 ◆ 14 税効果会計…195 ◆ 15 消費税の会計処理…196

5 貸借対照表

1 貸借対照表(B/S)の区分・形式…199 ◆ 2 貸借対照表の原則…199 ◆ 3 純資産の部について…201 ◆ 4 流動資産と固定資産を区別する基準…201 ◆ 5 無形固定資産…203 ◆ 6 投資その他の資産…204 ◆ 7 貸倒引当金の表示方法…205

6 有価証券の(時価)評価

1 時価評価の概要…208 ◆ 2 売買目的の有価証券…209 ◆ 3 満期保有目的の債券…210 ◆ 4 子会社株式…211 ◆ 5 親会社株式…211 ◆ 6 自己株式…211 ◆ 7 その他有価証券…212 ◆ 8 時価が著しく下落した場合…212

7 棚卸資産の評価

1 棚卸資産の評価に関する会社法の規定…214 ◆ 2 低価法の強制適用…215 ◆ 3 棚卸資産の評価に関する税法の規定…216 ◆ 4 評価の事例…217 ◆ 5 棚卸資産について評価損の計上認められる場合…220

8 その他の会計基準

1 リース会計(リース取引の資産計上)…222 ◆ 2 減損会計…223

9 株主資本等変動計算書

1 株主資本等変動計算書とは…227 ◆ 2 株主資本等変動計算書の作成方法…227

第3編 財務分析の基本

1 財務分析の基本

- 1 財務分析とは…232 ◆ 2 財務分析の方法…233 ◆ 3 標準値との比較…233 ◆ 4 回転率と回転期間…234 ◆ 5 財務分析で使う資本とは(純資産のみではない)…236

2 収益性の分析

- 1 総資本経常利益率について…239 ◆ 2 経営資本営業利益率について…240 ◆ 3 自己資本利益率について…241 ◆ 4 配当率と配当性向…242 ◆ 5 売上高総利益率について…242 ◆ 6 売上高営業利益率について…243 ◆ 7 売上高経常利益率について…245 ◆ 8 金融費用負担率について…246 ◆ 9 総資本回転率について…246 ◆ 10 売上債権回転率について…247 ◆ 11 仕入債務回転率について…249 ◆ 12 商品回転率について…249 ◆ 13 製造業の棚卸資産回転期間について…250 ◆ 14 固定資産回転率について…251

3 損益分岐点分析

- 1 損益分岐点分析とは…254 ◆ 2 固定費と変動費…254 ◆ 3 費用の分解方法…255 ◆ 4 損益分岐点売上高の図形的求め方…256 ◆ 5 損益分岐点売上高の数学的求め方…258 ◆ 6 限界利益率を使った損益分岐点売上高の公式…260 ◆ 7 損益分岐点比率と経営安全率…260 ◆ 8 販売業の採算点…261 ◆ 9 目標利益達成のための必要売上高…261

4 安全性の分析

- 1 自己資本比率について…263 ◆ 2 負債比率について…264 ◆ 3 流動比率について…265 ◆ 4 売上債権対仕入債務比率について…266 ◆ 5 当座比率について…267 ◆ 6 固定比率について…268 ◆ 7 固定長期適合率について…268

5 生産性の分析

- 1 生産性とはなにか…271 ◆ 2 付加価値とはなにか…272 ◆ 3 付加価値の計算方法…273 ◆ 4 労働生産性の分析…275 ◆ 5 労働分配率の分

析…277

6 資金運用表による分析

- 1 資金収支の計算について…280 ◆
- 2 資金運用表とは…280 ◆
- 3 資金運用表の型式…281 ◆
- 4 正味運転資本について…283 ◆
- 5 資金運用表の作り方…283 ◆
- 6 資金運用表の見方…285 ◆
- 7 資金運用表作成の事例…285 ◆
- 8 作成した資金運用表のポイント…290

7 資金繰り表による分析

- 1 資金繰り表とは…292 ◆
- 2 資金の分類…292 ◆
- 3 資金繰り表の型式…293 ◆
- 4 資金繰り表の見方…293 ◆
- 5 簡単な資金繰り表分析の事例…295

8 キャッシュ・フロー計算書による分析

- 1 キャッシュ・フロー計算書とは…298 ◆
- 2 キャッシュの定義…298 ◆
- 3 3つの区分について…298 ◆
- 4 直接法と間接法…301

9 資金需要の検討

- 1 資金需要と融資の申出…304 ◆
- 2 融通手形とは…304 ◆
- 3 融通手形の見分け方…305 ◆
- 4 財務資料を使って融手を見分ける方法…306 ◆
- 5 手形割引限度枠について…307 ◆
- 6 経常運転資金の需要について…308 ◆
- 7 特殊な運転資金の需要について…309 ◆
- 8 設備投資資金の需要について…310

本書の内容に関する訂正等の情報

本書は内容につき精査のうえ発行しておりますが、発行後に訂正(誤記の修正)等の必要が生じた場合には、当社ホームページ (<http://www.khk.co.jp/>) に掲載をいたします。

第1編

簿記の基本

CHAPTER 1

簿記の用語

簿記を学習する者にとって、悩みの種は言葉の問題です。勉強を開始すると簿記特有の用語がつきからつきへととびだしてきて、めんどうです。

そこで本書では、簿記を学習するにあたって押さえておきたい重要な用語をまず解説します。法律用語や日常使われる言葉との意味の異同にも触れていますので、簿記特有の用語のニュアンスを感じながら読み進めてください。

▶▶ 1 企業経営と会計

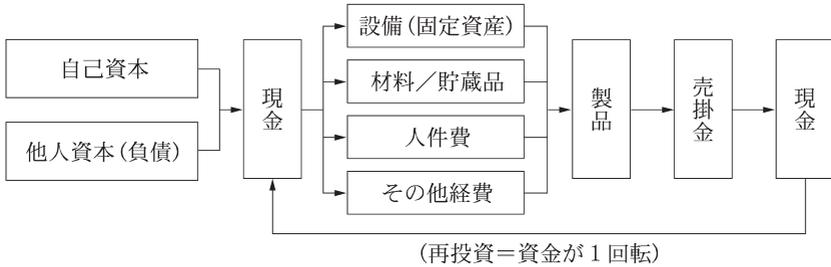
企業経営者はいくつかの目的をもって、企業を経営しています。

- ① 銀行や株主から資金を調達して、土地・建物・設備等の固定資産を購入し、人を雇用し、材料等の棚卸資産を購入すること。
- ② 購入した材料等を製品に加工し、顧客に販売して販売代金を手に入れること。
- ③ 手に入れた販売代金（資金）をもとに、再び材料を購入したり、従業員に給料を払ったり、あるいはつぎの新製品開発に資金を投入すること。

こうした経営活動を繰り返す過程でヒト・モノ・カネ等の経営資源を最適配分して企業活動を継続していくために、どうしても必要になる情報が「会計」なのです。

会計の目的は、つぎのとおりです。

<図表 1-1-1> 経営資本の循環とは



- ① 企業がどのような資産をどれだけ保有・運用し、そのための資金をどのような調達で賄っているかという、企業の一定時点での財産の状態を知ること。
- ② この1年間で、どのような利益(もうけ)をどれだけ稼いだかという、企業の一定期間の経営の成績を知ること。

2 会計と簿記

もっとも広い意味での会計という言葉の意味は、「財産の保全と運用に関して、貨幣の単位を使って行う計数的管理」といい表わすことができます。

この場合の計数的管理とは、①記録、②計算、③照合、④報告、⑤分析、というような一連の事務をすべて含んでいるものです(図表1-1-2)。

会社法では、会計のことを会社の「計算等」とよんでいます。これは、いまあげた5つのうちの②計算と④報告を会計の中心的項目と考えているため、このような呼称になったのでしょう。

簿記というのは、会計業務のうち、主として①記録と②計算について、具体的にその方法を説明している事務上のテクニックです。

また企業会計という言葉がときどき使われますが、これは、一般に官庁会

＜図表 1-1-2＞ 計数的管理の一連の作業

① 記録	会計上の取引を1つひとつ記録すること
② 計算	①で記録した会計上の取引を一定のルールに従って集計・計算すること
③ 照合	①の記録と②の計算を根拠資料と照合すること
④ 報告	一定期間ごとに、財産の状態と利益の状況をまとめて、株主や税務当局に報告すること
⑤ 分析	④の結果をいろいろな観点から分析し、今後の経営に役立てること

計（現金出納簿と財産台帳中心の簿記）に対し民間会社の会計という意味で使ったり、税法をおり込んだ税務会計に対して税法を考えに入れない会計という意味で使ったりしている言葉です。しかし、ここでは、あまり深く考えずに簿記と同じような意味の言葉と考えておいて結構です。

3 商行為と取引

法律上使われている商行為という言葉は、「営業活動に関する財産上の行為」という意味で、民法上の行為にくらべ、営利性・迅速性・集団性・非個人性などの特色をもっています。

ところで簿記上の取引とは、「資産・負債・純資産の金額に増減変化を引き起こすような一切の現象」といい表わすことができます。

したがって、商品の仕入とか売上のように、会社の外部と関係したことはもちろん、従業員に給料を支払うというような内部だけのできごととも取引と考えているのです。そればかりか、事業用の建物が火災で焼けてしまったり、商品を店先で万引きされたことなども資産の減少ですから、簿記の世界では、取引の仲間に入れているのです。日常使っている取引という言葉との意味の違いをよく味わってみてください。

ところで、事業用の建物を借りる契約をただけでは、その事業の資産・負債・純資産にまだ増減変化が起こっていないので、簿記会計上の取引には

〈著者紹介〉

染谷 英雄 (そめや ひでお)

昭和38年 東京都台東区生まれ

昭和62年 公認会計士第2次試験合格、監査法人朝日新和会計社(現 あずさ監査法人)入社

平成3年 公認会計士第3次試験合格

平成13年 税理士登録、銀座公認会計士共同事務所所属

平成19年 つばさ税理士法人設立

上場会社、上場会社親会社および連結子会社の会計および税務顧問、企業再編税制コンサルティング、連結納税コンサルティング等に従事

〈主な著書〉

「法人税を初歩から学ぶ」「海外事業を成功に導く 経理・財務の教科書」(共著)(いずれも中央経済社)、「ITコンサルタントのための会計知識」(共著)(SRC出版)「税効果会計入門」(アスキー・メディアワークス)「会社の『取引』から学ぶ 簿記・企業会計・税務入門」(レクシスネクシス・ジャパン)ほか

八訂 簿記と財務諸表の基礎

2002年3月30日 初版第1刷発行

2003年4月1日 改訂版第1刷発行

2007年4月3日 三訂版第1刷発行

2009年4月16日 四訂版第1刷発行

2010年4月5日 五訂版第1刷発行

2012年3月21日 六訂版第1刷発行

2013年4月5日 七訂版第1刷発行

2016年3月25日 八訂版第1刷発行

著者 染谷 英雄

発行者 金子 幸司

発行所 (株)経済法令研究会

〒162-8421 東京都新宿区市谷本村町3-21

電話 代表 03(3267)4811 制作 03(3267)4823

〈検印省略〉

営業所／東京 03(3267)4812 大阪 06(6261)2911 名古屋 052(332)3511 福岡 092(411)0805

表紙デザイン／Design Office Notch 制作／北脇 美保 印刷／あづま堂印刷

© Hideo Someya 2016 Printed in Japan

ISBN978-4-7668-3318-8

“経済法令グループメールマガジン” 配信ご登録のお勧め

当社グループが取り扱う書籍、通信講座、セミナー、検定試験情報等、皆様にお役立ていただける情報をお届け致します。下記ホームページのトップ画面からご登録いただけます。

☆ 経済法令研究会 <http://www.khk.co.jp/> ☆

定価はカバーに表示してあります。無断複製・転用等を禁じます。落丁・乱丁本はお取替えます。